

ナカジマ薬局における実務実習「服薬指導」について ～実務実習モデル・コアカリキュラムを用いて～

北山 久乃<sup>1</sup>、小笠原 博美<sup>1</sup>、長堀 司<sup>1</sup>、宮本 雄大<sup>1</sup>、中島 史雄<sup>1</sup>、中島 久司<sup>1</sup>  
郡 修徳<sup>2</sup>（<sup>1</sup>ナカジマ薬局、<sup>2</sup>北海道薬科大学）

#### 【目的】

ナカジマ薬局（以下、当社）では以前より、4年生を対象とした2週間の実務実習を受け入れ、現在、平成22年から始まる6年制実務実習の受け入れに対する準備を進めている。中でも薬局業務を知る上で「服薬指導」実習は重要と考える。平成20年1月から2ヶ月間、北海道薬科大学大学院修士課程臨床薬学実務研修で大学院1年生3名を受け入れるにあたり、大学と打ち合わせを行い、実務実習モデル・コアカリキュラム（以下、コアカリ）に準拠して行うこととした。今回当社で行った実際の「服薬指導」実習内容と実習終了後、実習担当者と学生に対し行ったアンケート調査結果について報告する。

#### 【方法】

約2ヶ月間の研修中、3名の学生は取り扱う診療科の異なる3店舗での「服薬指導」を体験するために、ローテーションを組み実習を行った。「服薬指導」の各到達目標（SBO）に対して、当社独自の指導ポイントを作成し、見学、実施、集合研修での講義及び服薬コミュニケーションロールプレイング（以下、RP）を組み合わせた。実習終了後、学生には実習内容についての満足度のアンケート調査、実習担当者には実習内容の達成度と改善点等のアンケート調査を実施した。

#### 【結果・考察】

薬局業務の重要ポイントは患者様とのコミュニケーションと考えているが、今回この実習で学生にも十分理解が得られた。しかし、実習担当者は業務を行いながらの学生指導となるので、コアカリ通りには進まないという意見があがった。この改善策として、患者様への「服薬指導」の実践に関しては、多くを実施させられない場合もあり、業務で数多く「服薬指導」の現場を見学させ、集合研修でRPとそれに伴う講義をリンクしながら実施していく必要性を強く感じた。患者様のニーズが多様化する中、今後6年生実務実習でも益々「服薬指導」実習の重要度が高くなると考えられるので、当社ではRP研修と店舗での実習内容のさらなる充実を目指し実習内容の見直しを行い、また職員のコミュニケーションスキルアップも行っていきたいと考える。

実際に行ったRPと店舗での服薬指導内容のスライドを入れる。

宮の森店で向くんの写真を撮る！

アンケートの結果に「薬局業務の中での服薬指導の役割の理解度」も入れる

実習の中で、「服薬指導」の実践とRPを入れる事により理解がより得られた内容でいく